

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,331
		2号炉	776
		3号炉	4,324

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月30日	947	800 以上
		2号炉	4月30日	880	
		3号炉	4月30日	990	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	170	
		3号炉	4月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月30日	5	100 以下
		2号炉	4月30日	27	
		3号炉	4月30日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	4月26日	5月26日	0.3 m ³ N/h	81.9 m ³ N/h
	9.6 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00072 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					20 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	12 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					67 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				0.83 µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	4月26日	5月26日	0.23 m ³ N/h	82.7 m ³ N/h
	7.7 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00063 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					19 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	11 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					57 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				- µg/m ³	50 µg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,352
		2号炉	4,048
		3号炉	4,363

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	940	800 以上
		2号炉	6月27日	956	
		3号炉	6月30日	954	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	6月27日	170	
		3号炉	6月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	5	100 以下
		2号炉	6月27日	9	
		3号炉	6月30日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	6月26日	7月20日	0.40 m ³ N/h	81.9 m ³ N/h	
	13 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00068 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					16 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	26 ppm							
窒素酸化物	1回/2月				83 ppm	180 ppm		
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	6月26日	7月20日	0.19 m ³ N/h	84.5 m ³ N/h	
	5.8 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00073 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					6.8 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	11 ppm							
窒素酸化物	1回/2月				75 ppm	180 ppm		
全水銀	1回/4月				3.30 μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	6月26日	7月20日	0.11 m ³ N/h	84.3 m ³ N/h	
	3.4 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00072 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					6.9 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	11 ppm							
窒素酸化物	1回/2月				74 ppm	180 ppm		
全水銀	1回/4月				0.97 μg/m ³	50 μg/m ³		

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
		可燃ごみ	1号炉
		2号炉	2,767
		3号炉	4,053

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月20日	942	800 以上
		2号炉	7月31日	951	
		3号炉	7月28日	960	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月20日	170	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	170	
		3号炉	7月28日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月20日	5	100 以下
		2号炉	7月31日	7	
		3号炉	7月28日	6	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
		冷却設備	1号炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	7月19日	8月29日	0.000000	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	7月18日	8月18日	0.21 m ³ N/h	84.3 m ³ N/h	
	6.1 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00072	g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					17	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					10	ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				16	µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	/					ppm		
ばいじん	1回/2月					/	g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					/	ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				/	µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	/					ppm		
ばいじん	1回/2月					/	g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					/	ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				/	µg/m ³	50 µg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

※6 1号炉は基幹改良工事に伴い7月28日より停止しており、稼働後 (令和5年2月予定) に測定を実施予定です。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,595
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	8月31日	973	
		3号炉	休炉	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	170	
		3号炉	休炉	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	8月31日	7	
		3号炉	休炉	—	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月					ppm	180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	8月24日	9月19日	µg/m ³	50 µg/m ³
ばいじん	1回/2月					0.14 m ³ N/h	91.8 m ³ N/h
塩化水素	1回/2月					3.5 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					<0.00077 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
全水銀	1回/4月					6.7 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	4.1 ppm	180 ppm
ばいじん	1回/2月					68 ppm	180 ppm
塩化水素	1回/2月					1.5 µg/m ³	50 µg/m ³
窒素酸化物	1回/2月					m ³ N/h	— m ³ N/h
全水銀	1回/4月					ppm	
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.08 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N				
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,564
		2号炉	4,445
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日	936	800 以上
		2号炉	9月30日	958	
		3号炉	休炉	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	170	
		3号炉	休炉	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日	4	100 以下
		2号炉	9月30日	8	
		3号炉	休炉	—	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	9月28日	10月26日	0.50 m ³ N/h	78.1 m ³ N/h	
	19.0 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00067 g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					30 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	18.0 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	9月28日	10月26日	59 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月					- µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月					0.07 m ³ N/h	82.0 m ³ N/h	
	2.4 ppm							
ばいじん	1回/2月					<0.00066 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	3.1 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N					
	1.9 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	69 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月					- µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月					m ³ N/h	— m ³ N/h	
	ppm							
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N					
	ppm							
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³					

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,580
		2号炉	4,581
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	950	800 以上
		2号炉	10月31日	973	
		3号炉	休炉	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日	170	
		3号炉	休炉	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	6	100 以下
		2号炉	10月31日	8	
		3号炉	休炉	—	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	10月10日	11月21日	0 ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	10月10日	11月22日	0 ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉			ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉		m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月				ppm	
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm
					µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉		m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月				ppm	
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm
					µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉		m ³ N/h	— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月				ppm	
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm
					µg/m ³	50 µg/m ³

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,411
		2号炉	3,385
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	932	800 以上
		2号炉	11月30日	955	
		3号炉	休炉	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	170	
		3号炉	休炉	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	5	100 以下
		2号炉	11月30日	8	
		3号炉	休炉	—	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	11月17日	12月19日	0.26 m ³ N/h	79.3 m ³ N/h	
ばいじん	11 ppm							
塩化水素	<0.00071 g/m ³ N					200 mg/m ³ N		
窒素酸化物	25 mg/m ³ N							
全水銀	15 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	11月30日	12月28日	67 ppm	180 ppm	
全水銀	0.96 µg/m ³							
硫黄酸化物	1回/2月					0.038 m ³ N/h		79.3 m ³ N/h
ばいじん	1.5 ppm							
塩化水素	<0.00077 g/m ³ N					200 mg/m ³ N		
窒素酸化物	5.8 mg/m ³ N							
全水銀	3.5 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	73 ppm	180 ppm	
全水銀	0.96 µg/m ³							
硫黄酸化物	1回/2月					m ³ N/h		— m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月	mg/m ³ N						
全水銀	1回/4月	ppm						
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	µg/m ³						

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和5年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,915
		2号炉	3,874
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	932	800 以上
		2号炉	12月31日	953	
		3号炉	休炉	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	170	
		3号炉	休炉	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	4	100 以下
		2号炉	12月31日	7	
		3号炉	休炉	—	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,819
		2号炉	2,030
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月15日	927	800 以上
		2号炉	1月17日	950	
		3号炉	休炉	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月15日	170	概ね 200 以下
		2号炉	1月17日	170	
		3号炉	休炉	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月15日	5	100 以下
		2号炉	1月17日	7	
		3号炉	休炉	—	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	1月12日	2月8日	0.2 m ³ N/h	79.5 m ³ N/h
	7.9 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00068 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					27 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	16 ppm						
窒素酸化物	1回/2月				68 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				5.5 µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	1月12日	2月8日	0.13 m ³ N/h	78.3 m ³ N/h
	5.1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00067 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					2.9 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	1.7 ppm						
窒素酸化物	1回/2月				78 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				4.2 µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.08 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				µg/m ³	50 µg/m ³	

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,990
		2号炉	—
3号炉		1,286	

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月29日	946	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月29日	953	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月29日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月29日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月29日	4	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	2月29日	5	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月	µg/m ³	50 µg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	2月27日	3月26日	0.46 m ³ N/h	78.6 m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					16 ppm		
塩化水素	1回/2月					<0.00073 g/m ³ N	0.08 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					13 mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
全水銀	1回/4月					7.9 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月	62 ppm	50 µg/m ³					
全水銀	1回/4月	3.5 µg/m ³	50 µg/m ³					

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和6年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,366
		2号炉	2,800
		3号炉	3,998

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ ¹ (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	962	800 以上
		2号炉	3月31日	950	
		3号炉	3月31日	985	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ ¹ (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	170	
		3号炉	3月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ ¹ (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	6	100 以下
		2号炉	3月31日	9	
		3号炉	3月31日	6	

※¹ 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ ² の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※² 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ ³	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※³ 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※⁴※⁵

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	— m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N		0.08 g/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月					ppm		200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³					

※⁴ 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※⁵ 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。